NEWS RELEASE

2026 年 11 月 9 日
株式会社大和コンピューター

A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業第 30 期プロジェクトに採択
～アザミウマを対象とした光誘引駆除機「ピカとる®」の開発を開始～

株式会社大和コンピューター（大阪本社：大阪府高槻市／東京本社：東京都港区、代表取締役社長：中村 憲司、以下「大和コンピューター」）の子会社で農業事業を手掛ける株式会社ルーツ（本社：静岡県袋井市、以下「ルーツ」）は、公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構フォトンバレーセンター（所在地：静岡県浜松市、以下「フォトンバレーセンター」）の支援する「A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業」第 30 期プロジェクトに採択されました。なお、ルーツの A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業への採択は今回で 3 回目となり、光技術・電子技術を活用した継続的な研究開発力が評価されました。

今回採択されたプロジェクト内容は、『アザミウマを対象とした光誘引駆除機の開発』であり、プロジェクトリーダーは静岡理工科大学 理工学部機械・航空・ロボット工学系の牧野育代教授、専門家は理工学部理工学科 物質生命科学系の脇川祐介准教授です。

第 21 期プロジェクトで採択された事業として開発した、害虫コナジラミを対象とした LED 誘引駆除機『ピカとる®』は、2025 年 6 月より販売を開始し、現在に至るまで大変ご好評いただいています。多くのお客様からコナジラミだけでなく、アザミウマへの対応を求めるご要望をいただいたことから、今回の事業提案につながりました。

本プロジェクトでは、施設園芸において深刻な被害をもたらす害虫アザミウマを対象に、青色 LED 光を活用した次世代害虫誘引駆除機「ピカとる®」第二弾の開発を推進します。農薬に依存しない新たな防除手法の確立を目指し、生産者の負担軽減と持続可能な農業の実現に貢献します。

■開発の背景
アザミウマは、トマト、イチゴ、メロン、キュウリなど多くの園芸作物に被害を及ぼす微小害虫です。吸汁による品質低下だけでなく、各種ウイルス病を媒介することから、生産現場にとって極めて重要な防除対象となっています。

近年は薬剤抵抗性を持つ個体の増加や農薬散布作業の負担増加などが課題となっており、環境負荷を抑えながら効率的に害虫を防除できる新技術への期待が高まっています。

こうした背景のもと、ルーツは、A-SAP 事業を活用し、光の特性を利用した害虫防除技術の研究開発を進めることとなりました。

■期待される効果
アザミウマを対象とした『ピカとる®』の実用化により、以下の効果が期待されます。
・農薬使用量の削減による環境負荷低減
・防除作業負担の軽減
・病害虫被害による収量・品質低下の抑制
・農業経営の安定化
・持続可能な施設園芸の推進
また、スマート農業や環境制御型農業との連携により、より効果的な害虫管理への展開も期待されています。

■今後の展望
ルーツは、静岡理工科大学との共同研究を通じて光誘引技術の高度化を図り、施設園芸における実証試験を進めます。今後は製品化に向けた改良を重ね、施設園芸農家の省力化および収量向上に貢献する防除ソリューションの提供を目指します。

■株式会社ルーツについて
株式会社ルーツは静岡県袋井市において施設園芸事業を展開し、養液栽培によるマスクメロンおよびトマトの生産を行っています。また、統合環境制御システムの研究・開発を通じて、持続可能な農業の実現に取り組んでいます。

■参考出展予定
開発成果の情報発信および市場ニーズの把握を目的として、以下展示会への参考出展を予定しています。

展示会名	開催日	会場
アグリビジネス創出フェア 2026	2026 年 11 月 11 日（水） ～13 日（金）	東京ビッグサイト　南展示棟 （東京都江東区）
産業振興フェア in いわた 2026	2026 年 11 月 13 日（金） ～14 日（土）	アミューズ豊田 （静岡県磐田市）

展示会では、現在販売中のコナジラミ LED 誘引駆除機『ピカとる®』と、今回開発を進めるアザミウマ対応試作機を展示し、研究成果および今後の開発計画について紹介する予定です。

【本件に関する問い合わせ先】
株式会社大和コンピューター　社長室　松宮、中村
TEL：072-676-2221